田原本町
これからの学校教育のあり方に
関するアンケート調査結果

※保護者用アンケート集計分

2020（令和 2）年 7 月

【目次】

Ⅰ．調査概要 1
１．目的 2
２．調査設計 2
３．配布・回収状況 2
４．この報告書の見方 2
Ⅱ．調査結果 3
【調査結果概要】 4
Ⅰ．回答者情報 6
■ 問１　性別 6
■ 問２　年齢 6
■ 問３　お住まいの校区 7
Ⅱ．適切な教育環境について 7
■ 問４　１学年当たりの望ましいクラス数 7
■ 問５　１クラス当たりの望ましい生徒人数 8
■ 問６　現在の学校の教育環境について 8
Ⅲ．学校配置の今後の在り方について 9
■ 問７　適切な教育環境を維持向上していくために、どのような対応が良いか 9
■ 問８　学校の統廃合を実施した場合、どのようなことが気になるか 10
Ⅳ．通学区域、学校選択について 11
■ 問９　通学区域を変更する場合、配慮すべきこと 11
■ 問 10　小中学校の学校選択について 11
■ 問 11　小中学校の再配置によって期待すること 12
■ 問 12　前述の質問で「期待することは特にない」と回答した理由 13
■ 問 13　小・中学生の通学距離（通学時間）は、どの程度までならよいか 13
■ 問 14　現在の通学距離よりも遠くなった場合の通学手段について 14
Ⅴ．学校環境について 14
■ 問 15　学校内の設備についての利用者の観点からのご意見 14
■ 問 16　将来、私立校（小学校、中学校）への通学を検討しているか 14
■ 問 17　再配置に関するご意見 14
Ⅵ．住民参画について 15
■ 問 18　今後、住民参画として希望する取り組みについて 15

Ⅰ. 調査概要

１．目的

本住民アンケート調査は、田原本町内の小中学校の再配置計画を策定するにあたり、実際に施設を利用する園児・児童の保護者から教育環境に関する意見・考えを把握するための基礎資料とすることを目的として実施した。

２．調査設計

個別施設計画策定のための参考資料や基礎データとするための調査項目を設定。具体的な調査設計は以下のとおりである。

調査対象	田原本町内の小、中学校及び幼稚園、保育園に通う子供の保護者、田原本町内の中学校に在席している生徒
配布数	3,960 件
実施期間	令和 2 年 6 月 10 日（水）～6 月 22 日（月）
調査方法	質問用紙を手渡しで配布し、回答者が各教育施設に返送

３．配布・回収状況

配布数	3,960 件
回収数	3,398 件（うち保護者用アンケートは 2,637 件）
回収率	85.8%

４．この報告書の見方

ア　各設問の集計に当たっては、無回答等を含めｎ数と表示している。

イ　百分率（%）は原則として小数第 2 位を四捨五入し表示している。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

Ⅱ. 調査結果

【調査結果概要】

回答者情報

- 子どもの性別では、「女性」1,324 人（50.2%）、「男性」1,298 人（49.2%）となっている。
- 年齢では、「中学生」が 637 人（24.2%）で最も多く、次いで「幼児（3～6 歳）」が 493 人（18.7%）で続いている。
- 校区では、「田原本小学校区」が 955 人（36.2%）で最も多く、次いで「南小学校区」が 618 人（23.4%）で続いている。

適切な教育環境について

- 1 学年当たりの希望クラス数では、**「2～3 クラスがよい」1,776 人（67.3%）**、「4～5 クラスがよい」592 人（22.4%）となっている。
- 1 クラス当たりの希望生徒数では、**「20 人程度」が 1,256 人（47.6%）**で最も多く、次いで「30 人程度」が 1,230 人（46.6%）で続いている。
- 現在の学校の教育環境について、**「そう思う」「ややそう思う」**と考える内容については**「さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに切磋琢磨できる」が 2,101 人（80%）**で最も多く、次いで**「協調性を養う機会に恵まれる」が 2,041 人（77%）**で続いている。

学校配置の今後の在り方について

- 適切な教育環境の維持向上についての取り組みとしては、**「現行のままの学校配置で良い」**が 1,279 人で最も多く、次いで**「すべての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである」**が 718 人で続いている。
- 学校の統廃合をした場合に気になることとしては、**「最も気になる」**と選択された中では**「通学距離について」**が 1,044 人（40%）で最も多く、**「次点で気になる」**と選択された中では**「通学方法について」**が 606 人（23%）で続いている。

通学区域、学校選択について

- 通学区域を変更する場合の配慮すべき項目として、**「遠距離通学にならないように配慮する」**が 1,900 人と最も多く、次いで**「通学路は交通量の多い道路や川など、危険な場所がないように配慮する」**が 1,861 人で続いている。
- 学校選択について思うこととして、**「指定された小中学校に入学させるべきだと思う」**が 1,204 人（45.7%）と最も多く、次いで**「指定された小中学校の隣接校なら入学させてもよいと思う」**が 763 人（28.9%）で続いている。
- 再配置によって期待することとして、**「子どもの交友関係が広がり、社会性が身につくこと」**が 1,080 人で最も多く、次いで**「教育環境や設備が充実すること」**が 1,006 人で続いている。
- 前述の質問において、**再配置について「期待することは特にない」**と回答した理由としては、**「詳細な計画が提示されておらず具体的な利点が理解できないため」**が 83 人で最も多く、次いで**「教員の質や教育内容が本質的に変わるわけではないため」**が 77 人で続いている。

■ 通学距離（通学時間）はどの程度までならよいと思うか、について**「1.5 ㎞（徒歩で約 30 分）まで」**が 1,801 人（68.3%）で最も多く、次いで「500m（徒歩で約 10 分）まで」が 537 人（20.4%）で続いている。

■ 今後、通学距離が遠くなった場合の通学手段として、**「自転車で通学させたい」**が 1,372 人（52.0%）で最も多く、次いで「遠くなってもできるだけ徒歩で通学させたい」が 730 人（27.7%）で続いている。

学校環境について

■ 将来、私立校（小学校、中学校）に通わせることを検討しているか、については、**「いいえ」**が 2,229 人（84.5%）で最も多く、次いで「はい」が 219 人（8.3%）で続いている。

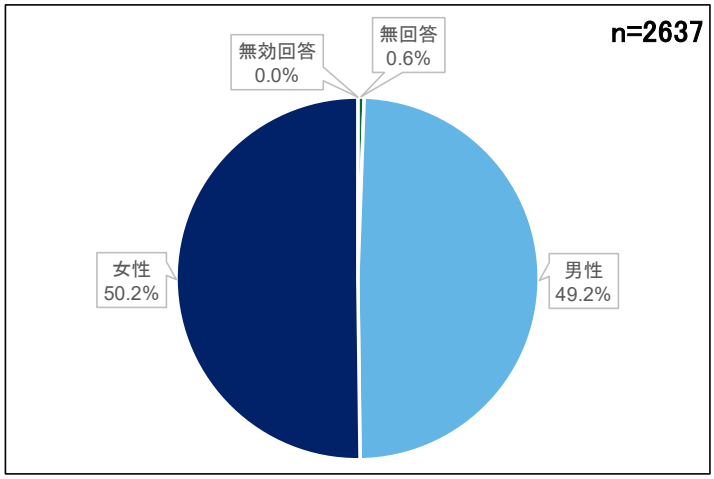
住民参画について

■ 今後、住民参画として希望する取り組みとして、**「議論・対話の機会（ワークショップ等）をつくる」**が 676 人で最も多く、次いで**「アイデア提案の機会をつくる」**が 657 人で続いている。

Ⅰ．回答者情報

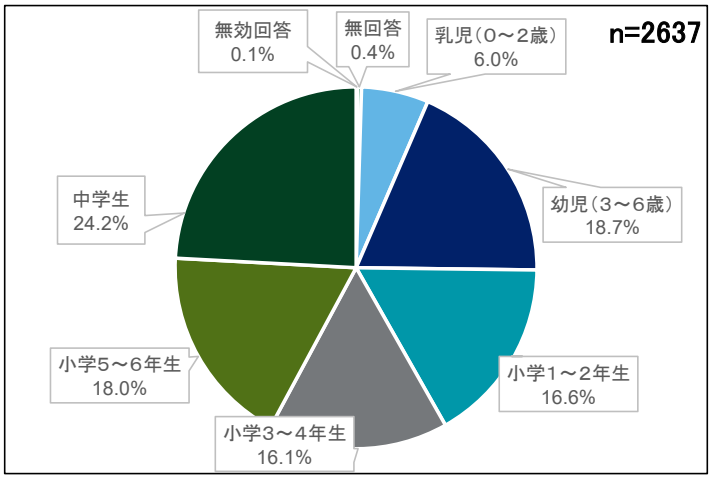
■ 問１　お子さまの性別を教えてください。（ひとつに○）

「女性」が 50.2%で最も多く、次いで「男性」が 49.2%となっている。



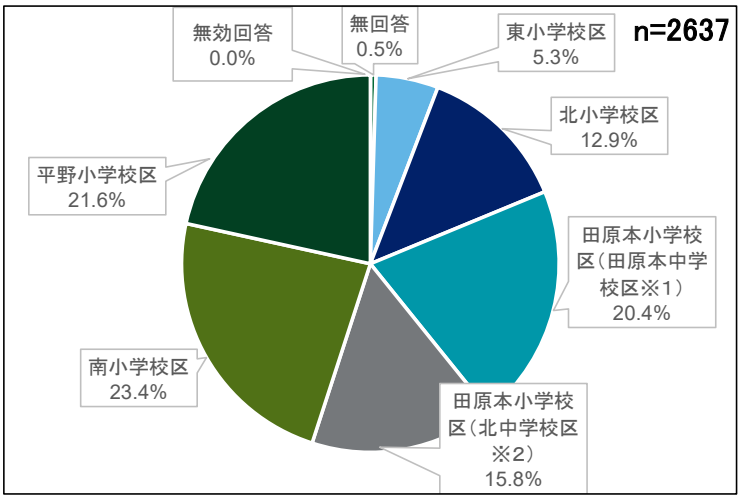
■ 問２　お子さまの年齢を教えてください。（ひとつに○）

「中学生」が 24.2%で最も多く、次いで「幼児（3～6 歳）」が 18.7%で続いている。



■ 問３　お子さまの居住地区（小学校区）について教えてください。（ひとつに○）

「田原本小学校区」が 36.2%で最も多く、次いで「南小学校区」が 23.4%で続いている。

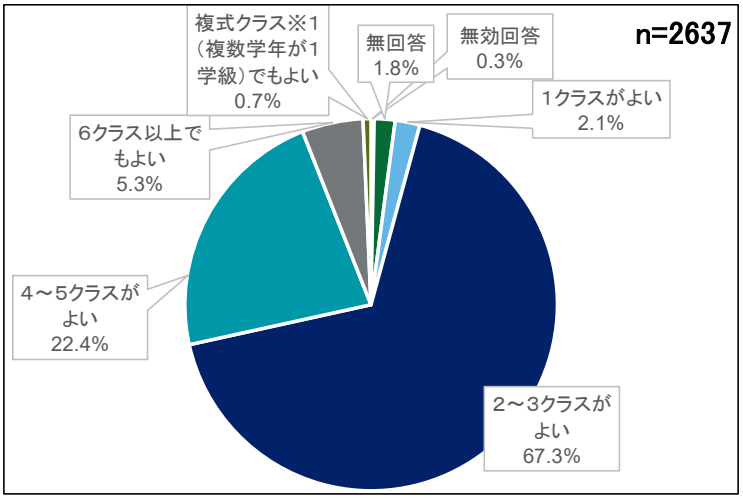


Ⅱ．適切な教育環境について

※問４以降の設問について、幼稚園・保育所に通う子どもの保護者の場合、子どもが小学校に上がった場合を想定して回答

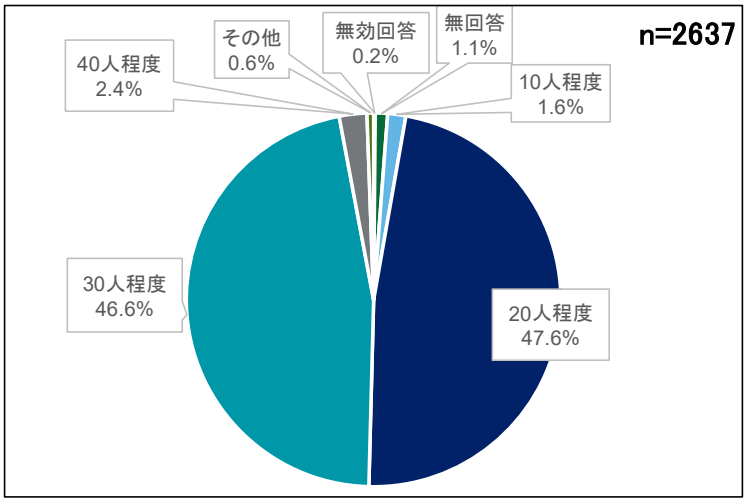
■ 問４　現在の学校のクラス数は１学年当たり何クラスが望ましいと思いますか。（ひとつに○）

「2～3 クラスがよい」が 67.3%で最も多く、次いで「4～5 クラスがよい」が 22.4%で続いている。



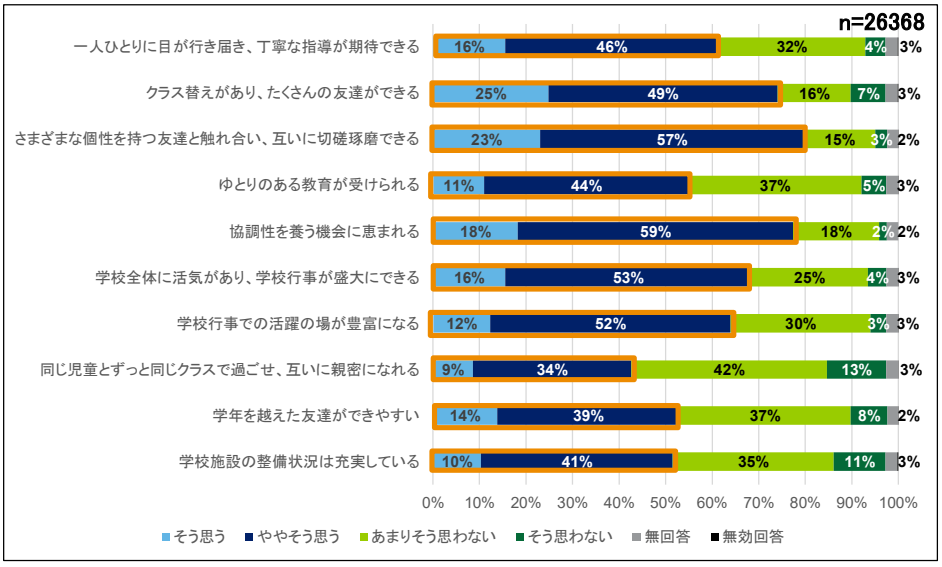
■ 問５　児童・生徒数は１クラス何人位が適切だと思いますか。（ひとつに○）

「20 人程度」が 47.6%で最も多く、次いで「30 人程度」が 46.6%で続いている。



■ 問６　現在の学校の教育環境について、以下の 10 項目に対してそれぞれ「そう思う」から「そう思わない」のうち、最も当てはまるものに丸「○」を一つ付けてください。

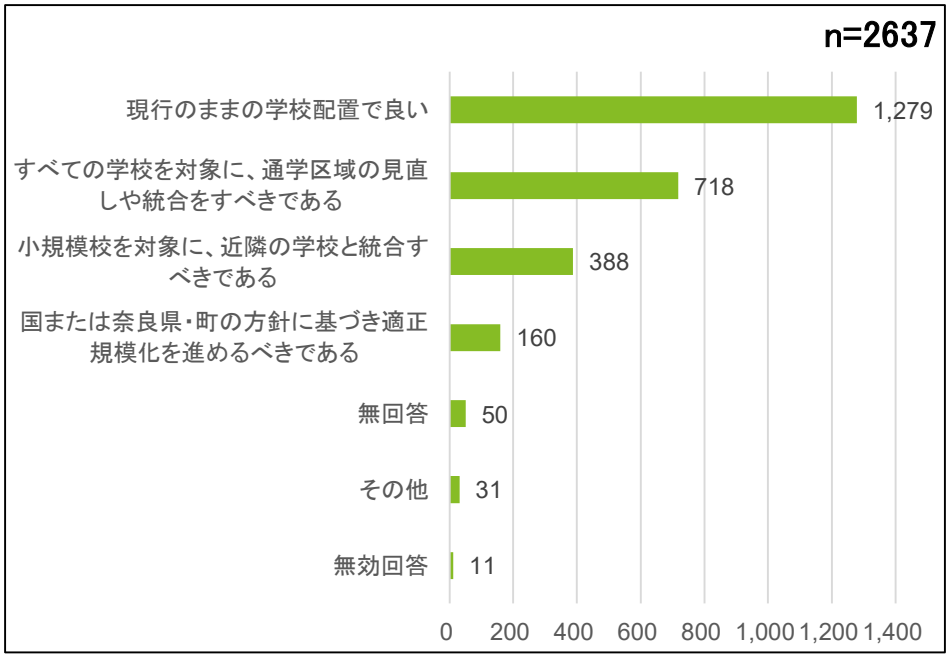
「そう思う」「ややそう思う」と回答された中では、「さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに切磋琢磨できる」が 80%で最も多く、次いで「協調性を養う機会に恵まれる」が 77%で続いている。



Ⅲ．学校配置の今後の在り方について

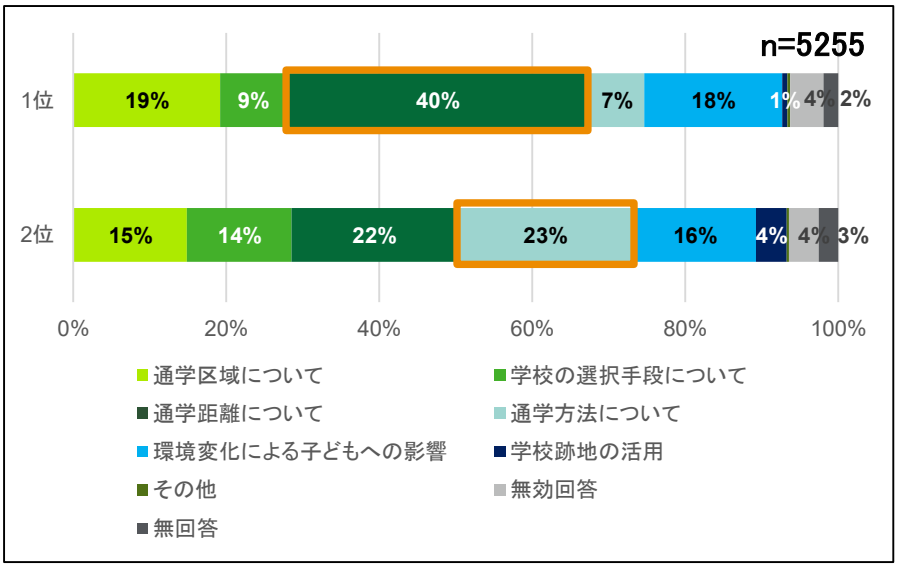
■ 問７　適切な教育環境を維持向上していくために、児童・生徒数が低下している状況を踏まえつつ、どのように対応してくことが良いと考えられますか。（ひとつに〇）

「現行のままの学校配置で良い」が 1,279 人で最も多く、次いで「すべての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである」が 718 人で続いている。



■ **問８　平成 29 年１月に公表された「田原本町学校・幼稚園の規模及び配置の適正化に関する考え方について(答申)」の中では「統廃合等も視野に入れた検討を早急に進める必要があると考えます」という意見も表明されておりますが、仮に学校の統廃合を実施した場合どのような事が気になりますか。以下の選択肢番号（１．～７.）のうち、最も当てはまるものを１位の回答欄に、次いで当てはまるものを２位の回答欄に記入してください。**

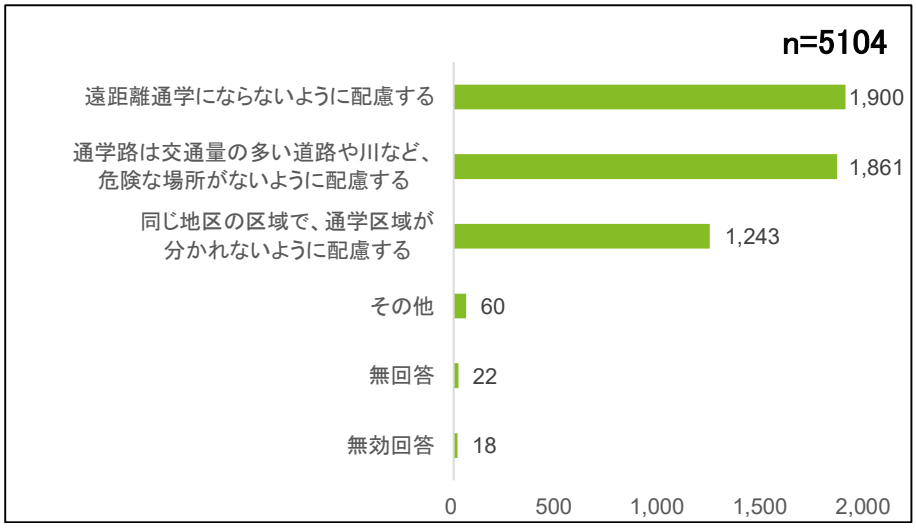
１位の回答では「通学距離について」が 40%、２位の回答では「通学方法について」が 23%とそれぞれ最も多い回答となった。



Ⅳ. 通学区域、学校選択について

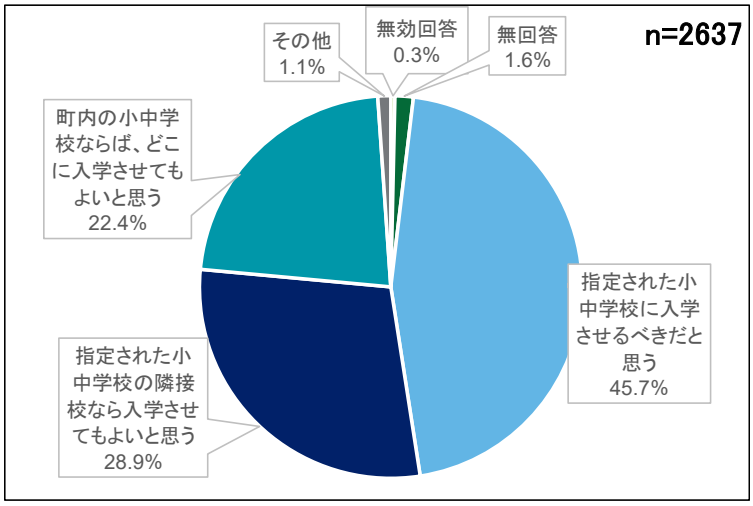
■ 問９　小中学校の通学区域を変更する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。（あてはまるもの全てに○（複数選択可））

「遠距離通学にならないように配慮する」が 1,900 人と最も多く、次いで「通学路は交通量の多い道路や川など、危険な場所がないように配慮する」が 1,861 人で続いている。



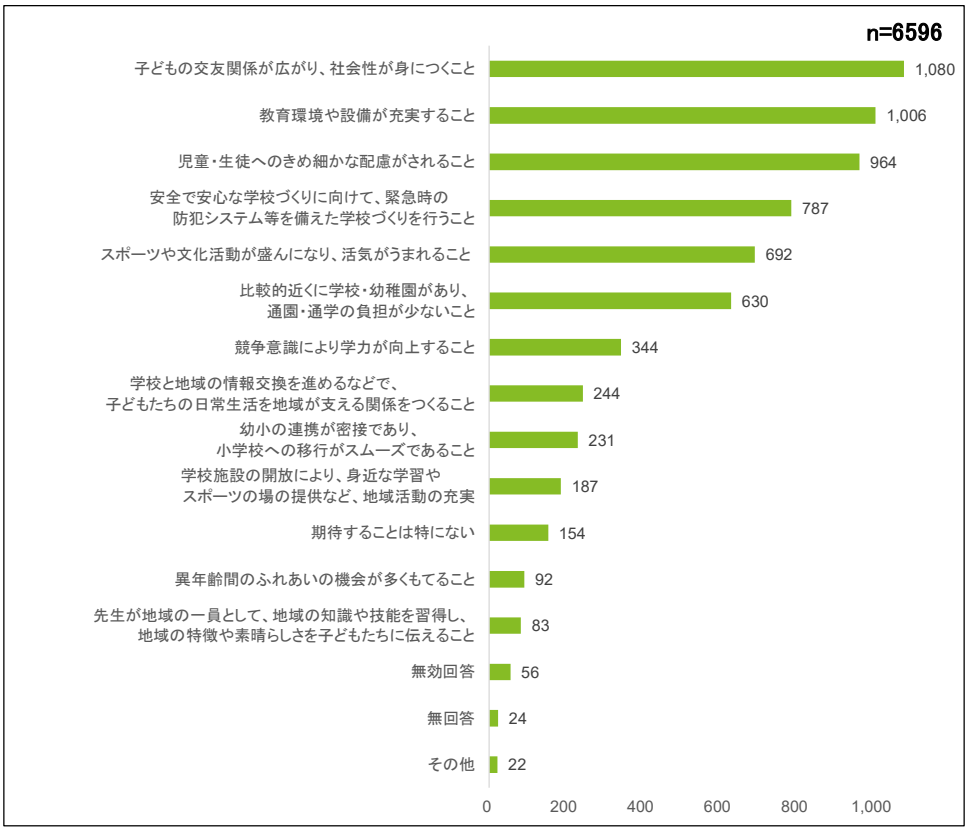
■ 問 10　小中学校の学校選択について、どのように思いますか。（ひとつに○）

「指定された小中学校に入学させるべきだと思う」が 45.7%と最も多く、次いで「指定された小中学校の隣接校なら入学させてもよいと思う」が 28.9%で続いている。



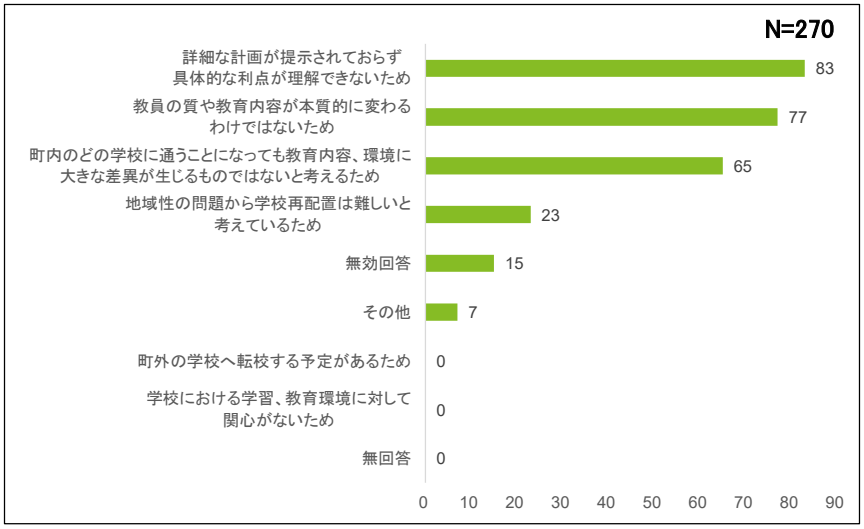
■ 問 11　小中学校の再配置によって期待することは何ですか。（〇は最大３つまで（複数選択可））

「子どもの交友関係が広がり、社会性が身につくこと」が 1,080 人で最も多く、次いで「教育環境や設備が充実すること」が 1,006 人で続いている。



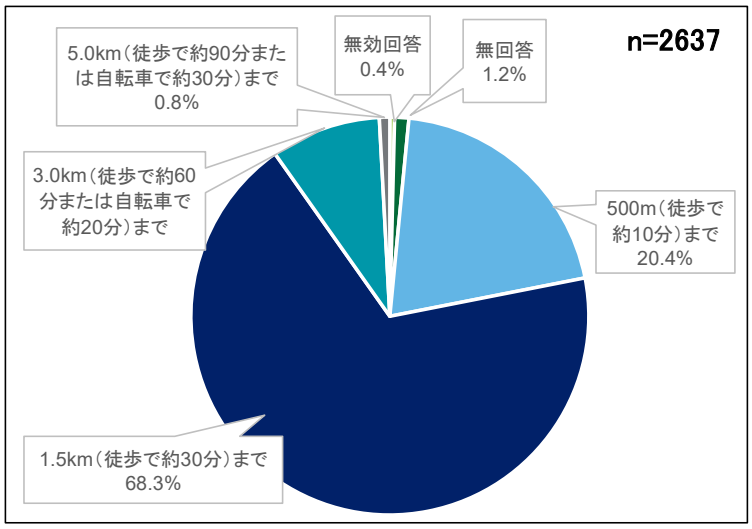
■ **問 12　前述の質問で「１３．期待することは特にない」と回答いただいた方に伺います。そう思われている理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○（複数選択可））**

「詳細な計画が提示されておらず具体的な利点が理解できないため」が 83 人で最も多く、次いで「教員の質や教育内容が本質的に変わるわけではないため」が 77 人で続いている。



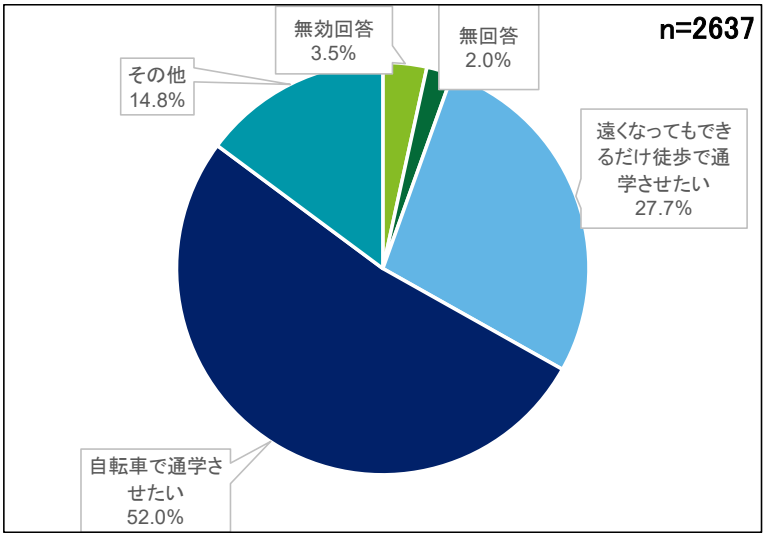
■ **問 13　小学生・中学生の通学距離（通学時間）は、どの程度までならよいと思いますか。（ひとつに○）**

「1.5 ㎞（徒歩で約 30 分）まで」が 68.3%で最も多く、次いで「500m（徒歩で約 10 分）まで」が 20.4%で続いている。



■ **問 14　今後、現在の通学距離よりも遠くなった場合、お子さまの通学手段についてどのような方法で通うのがよいと思いますか。（ひとつに○）**

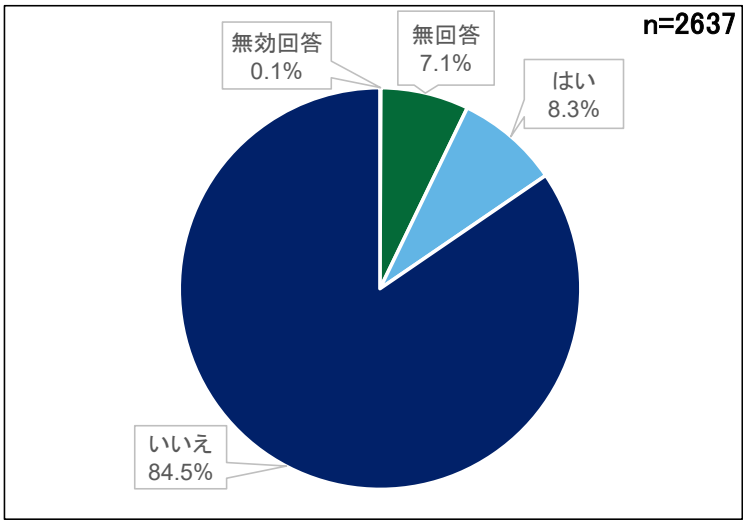
「自転車で通学させたい」が 52.0%で最も多く、次いで「遠くなってもできるだけ徒歩で通学させたい」が 27.7%で続いている。



Ⅴ．学校環境について

■ **問 16　将来、私立校（小学校、中学校）に通わせることを検討していますか。（ひとつに○）**

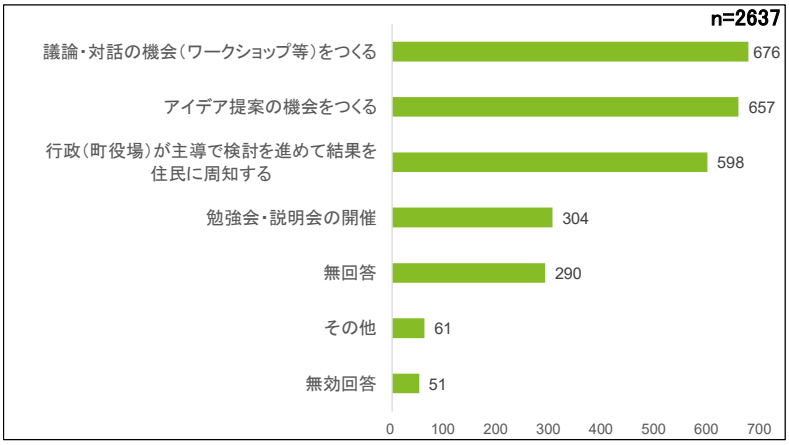
「いいえ」が 84.5%で最も多く、次いで「はい」が 8.3%で続いている。



Ⅵ. 住民参画について

■ 問 18　今後の教育環境の向上に向けた検討においては住民の皆様と連携して進めていく必要があります。そのためにはどのような取り組みが効果的だと思いますか。（ひとつに○）

「議論・対話の機会（ワークショップ等）をつくる」が 676 人で最も多く、次いで「アイデア提案の機会をつくる」が 657 人で続いている。



※ 問１５、問１７につきましては、自由回答意見欄であり、個人の特定につながる可能性がございますので割愛させていただいております。ご了承の程よろしくお願いいたします。